

2017年12月7日

親子での観測もおすすめ！14日夜は三大流星群の“ふたご座流星群”が見頃に
月明かり弱く好条件！“ふたご座流星群”、太平洋側ほど観測チャンス
～流星動画をスマホにお届け、アプリ「ウェザーニュースタッチ」の『流星キャッチャー』～

株式会社ウェザーニューズ(本社:千葉市美浜区、代表取締役社長:草開千仁)は、三大流星群(※)のひとつである、“ふたご座流星群”の観測を楽しんでいただくため、見頃となる14日夜～15日明け方の全国の天気傾向を発表しました。当日の天気は、日本海側は雲が広がりやすいものの、太平洋側では晴れて、好条件での流星観測が期待できます。“ふたご座流星群”は、毎年多くの流星が出現し、一晩中楽しめるのが特徴です。早い時刻から流星が出現し始めるため、お子さんをはじめ多くの方々にとって観測しやすい流星群でもあります。今年は見頃が新月の直前に当たり、月明かりの影響を受けず、観測には絶好の条件となります。ウェザーニューズでは、“ふたご座流星群”の様子を14日夜に流星特別番組として、国内3か所から生中継を行い、国立天文台よりゲスト解説者をお迎えして“リアルタイムプラネタリアム”をお届けします。番組は、ウェザーニューズのウェブサイトの他、ニコニコ生放送、YouTube Live、LINE LIVE、Periscope、FRESH!など各種動画サイトでご覧いただけます。また、中継で捉えた流星の動画が3分以内にスマホに届く通知サービス、スマホアプリ「ウェザーニュースタッチ」の『流星キャッチャー』に登録しておく、暖かい室内にしながら気軽に天体ショーをお楽しみいただけます。

※三大流星群:1月の“しぶんぎ座流星群”、8月の“ペルセウス座流星群”、12月の“ふたご座流星群”が挙げられます。

『流星キャッチャー』の登録はこちら	「ふたご座流星群」の詳細はこちら	本プレスリリースの素材ダウンロードはこちら
スマホアプリ「ウェザーニュースタッチ」をダウンロード後「星空 Ch.」からアクセス	ウェザーニューズウェブサイト 「ふたご座流星群」 https://weathernews.jp/s/star/gemini/	ウェブ版プレスリリース 「ふたご座流星群、天気見解」 https://jp.weathernews.com/news/20339/

◆気になる天気は？太平洋側は晴れて観測に好条件！

14日夜～15日明け方は冬の気圧配置となり、比較的雲の少ない太平洋側や沖縄・奄美では、流星観測に期待ができそうです。一方、西日本では、高気圧の縁をまわって流れ込む湿った空気と前線の影響で雲が広がりやすくなります。日本海側では雲の隙間を狙っての流星観測となり、九州南部では観測には難しい条件となりそうです。また、北陸や北日本の日本海側も雲が多く、観測が難しい予想です。



この時期としては寒さが控えめとなる場所が多い予想ですが、晴れるエリアでは、放射冷却現象で冷え込みが強まります。流星観測をする際は、寒さ対策を万全にしてお楽しみください。

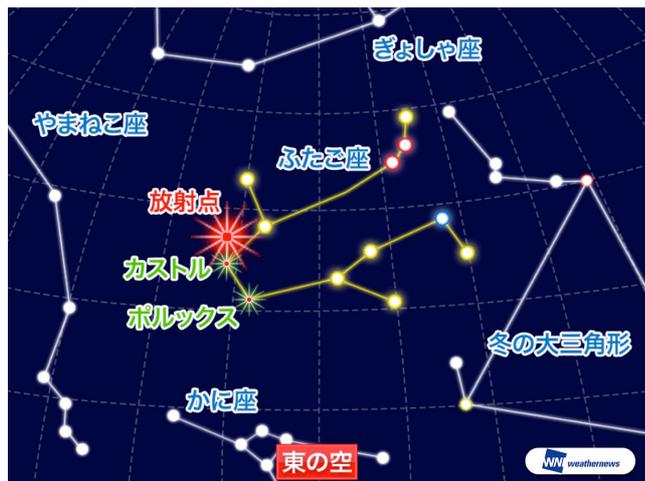
※本予報は7日時点のものです。最新のマップはアプリ「ウェザーニュースタッチ」の『星空 Ch.』、またはウェザーニューズのウェブサイト「ふたご座流星群」(<https://weathernews.jp/s/star/gemini/>)にて更新していきますので、随時ご確認ください。

◆今年 は月明かりに邪魔されず絶好の条件！14日21時以降の観測がおすすめ

三大流星群のひとつ“ふたご座流星群”は、毎年ほぼ確実にたくさん流星が出現するのが特徴で、中継でも毎回多くの流星が観測されています。また、“ふたご座流星群”は早い時刻から流星が出現し始め、ほぼ一晩中流星が出現するため、お子さんをはじめ多くの方々にとって観察しやすい流星群でもあります。

今年 は出現ピークが新月直前にあたるため、月明かりの影響を受けず絶好の条件で観測することができます。出現ピークは14日16時頃と予想されており、13日夜や14日夜は流星の見頃となります。特に、放射点が空高く上がってくる21時以降の観測がおすすめです。

流星群はふたご座の周辺のみには出現するわけではなく、放射点を中心に四方八方に流れるため、夜空のどこにでも現れます。街明かりのない、空が開けたところでは、1時間あたりに40個程度の流星が期待できそうです。



14日22時頃の星空(東京)

◆当日は国立天文台職員を解説に迎え、“ふたご座流星群”を生中継！各種動画サイトで配信

ウェザーニュースは、“ふたご座流星群”の様子を、14日20時～22時30分に流星特別番組にて生中継します。流星特別番組では国内3か所から生中継を行い、ゲスト解説者に国立天文台職員をスタジオに迎え、美しい星空と流星を堪能できる“リアルタイムプラネタリウム”をお届けします。番組はウェザーニュースのウェブサイトの他、ニコニコ生放送、YouTube Live、LINE LIVE、Periscope、FRESH!など各種動画サイトでご覧いただけます。

【YouTube Live】 <https://youtu.be/XU2qh3fdMzg>

【FRESH!】 <https://freshlive.tv/weathernews/175507>

また、ウェザーニュースが参画する、リアルタイム流星観測プロジェクト『MeteorBroadcaster(メテオブロードキャスター)』の参加型企画として、流れ星への願い事をtwitterで募集します。参加方法は簡単で、2つのハッシュタグ「#流れ星に願いを」「#ふたご座流星群」をつけて願い事をツイートするだけです。中継中に流れ星を捉えたら、ユーザーからお預かりした大切な願い事を流れ星に届け、満天の星空の中継画面に映し出します。



『MeteorBroadcaster』参加型企画 イメージ画像

◆流星の感動の瞬間がスマホに届く『流星キャッチャー』

『流星キャッチャー』は、中継で捉えた流星の動画が3分以内にスマホにプッシュ通知で届くサービスで、スマホアプリ「ウェザーニュースタッチ」の「星空 Ch.」から登録できます。“ふたご座流星群”の流星が多く期待できる(14日21時～24時)は、ウェザーニュースのスタッフが国内3か所の流星中継をモニタリングし、流星が確認されると同時に動画を編集して、登録している方のスマホにプッシュ通知でお届けします。プッシュ通知から開いた画面では、流星の動画をすぐにご覧いただき、どこにいても流星観測ができます。『流星キャッチャー』の対象エリアは、“全国”または“このエリア周辺のみ”から選択できます。



『流星キャッチャー』サンプル画像